

明治大学専門職大学院『ガバナンス研究』2024年3月 掲載

2022年法による英国医療改革¹

ー統合ケアサービスと新しいNHS診療報酬支払方式ー

明治大学専門職大学院ガバナンス研究科 兼任講師
キャノングローバル戦略研究所 柏木恵

英国医療は、税を中心的な財源として運営している国民保健医療サービス（National Health Service、以下、NHSと略す）である。2022年7月より施行されている「2022年保健医療ケア法(Health and Care Act 2022、以下、2022年法とする)」は、「2012年保健医療ケア法(Health and Social Care Act 2012、以下、2012年法とする)」以来の大きな改革と言われている。2012年法以降に確立された制度・組織を解体するために制定された。この法律は、元NHSイングランド最高責任者のサイモン・スティーブンス(Simon Stevens)氏のリーダーシップの下で作られた。スティーブンス氏は、デイビッド・ニコルソン(David Nicolson)氏の後を引き継ぎ、2014年4月から2021年7月までNHSイングランド最高責任者として活躍した。

2012年法では、2001年に発足したプライマリー・ケア・トラスト(Primary Care Trust)と2002年に発足した戦略的保健局(Strategic Health Authority)が廃止され、新たに、一般家庭医(General Practitioner)主導のクリニカル・コミッショニング・グループ(Clinical Commissioning Groups、以下、CCGと略す)が創設された。2012年法は、大きな組織・制度再編の法律であり、NHS内の調達が変更され、競争が重視され、NHSでは、さまざまな懸念が持たれるようになった²。

2022年法は、医療と福祉的ケアを連携するべく、より地域に立脚した組織再編や連携促進、そのための予算配分などに変化を及ぼした。CCGは統合ケア委員会(Integrated Care Boards)に再編された。また、調達と料金体系(診療報酬体系)³の見直しは、サッチャー政権以降、長く続いていたNHSの内部市場⁴を解体としたと言われている。2022年法で、二次医療に対する診療報酬額を定める規則について、これまでの公定価格表(National Tariff)から、新たにNHS診療報酬支払方式(NHS Payment Scheme)が採用された。NHS診療報酬支払方式は2023年4月より開始されている。

日本でも、2025年を目途に、地域包括ケアシステムの構築が推進されており、また、地

¹ 本稿の英国はイングランド(England)のみを指す。

² 筆者は、毎年6月に開催されるNHS Confederation主催のNHS職員が集うカンファレンスに参加しているが、2012年法による組織再編が発表された際は、カンファレンス会場で大きな反響が起き、その反響ぶりに大変驚いたことを記憶している。

³ 一般家庭医や診療所などの一次医療については、主にGMS契約(General Medical Services Contract)に基づいている。Dickinson(2020)など詳しいが、本稿では一次医療については捨象する。

⁴ 内部市場は、1990年のNational Health Service and Community Care Act 1990で定められた。

域別診療報酬制度についても議論されており、英国の取り組みについて検討することは意義がある。したがって、本稿では、統合ケアシステムと NHS 診療報酬支払方式を中心に 2022 年法による英国医療改革を検討する。

1. 統合ケアシステム設立までの変遷：先駆者から STP を経て統合ケアシステムへ

(1) 連携・統合の先駆的取組

スティーブンス氏が NHS イングランド最高責任者に就任したのは、2014 年 4 月である。2014 年 10 月に発表された『5 年後を見据えた展望 (NHS Five Year Forward View)』では連携・協力のビジョンが打ち出された。NHS を形成する 6 つの国家組織である NHS イングランド、NHS Improvement⁵、イングランド医療教育 (Health Education England)、NICE (The National Institute for Health and Care Excellence)、イングランド公衆衛生 (Public Health England)、ケア品質委員会 (Care Quality Commission) がまとめたものである。このビジョンは、一般家庭医、病院、地域保健、精神保健などのあらゆるサービスのさらなる統合、福祉的ケアとの連携を強化することが掲げられた。病院と一次医療を統合させた一次医療・急性期医療システム (Primary and Acute Care Systems) も新しい選択肢として発表された。予算配分や調達方法なども含めた見直しを行うことが示された⁶。

『5 年後を見据えた展望』を受けて、2014 年 12 月には、『2015 年度展望実行計画 (The Forward View into Action: Planning for 2015/16)』が公表され、2015 年 1 月には、新しいケアモデルの設計と実装の加速に焦点を当てた新たなプログラムが発表され、新しいケアモデルは公募方式が採用された。このプログラムは「先駆者 (Vanguards)」と名づけられ、2015 年 3 月には 29 件が採択された。2015 年 7 月には 8 件、2015 年 9 月には 13 件が追加され、合計で 50 件となった⁷。2015 年 3 月に先駆者プログラムが開始され、2015 年 7 月には、『展望行動指針：新しいケアモデル：先駆者への支援 (The Forward View into Action: New Care Models: support for the vanguards)』が公表され、支援パッケージが提供された⁸。2015 年 10 月には、米国に拠点を置く Institute for Healthcare Improvement の名誉会長で、元米国メディケア・メディケイドサービス (Centers for Medicare and Medicaid Services) の長官だったドナルド・バーウィック (Donald Berwick) 博士が客員研究員に任命された⁹。

2016 年 9 月には、『新しいケアモデル：先駆者—NHS とケアサービスの将来のため青写真を開発する (New Care Models: Vanguards - developing a blueprint for the future of NHS and care services)』が公表され、50 件のモデルそれぞれの概要が示された。この新しいケアモデルに対して、2015 年度には 1 億 1400 万ポンド、2016 年度には、1 億 1200

⁵ モニター (Monitor) と NHS トラスト開発局 (NHS Trust Development and Authority) を含む組織。

⁶ NHS England (2014a) pp.3-5.

⁷ NHS England (2016a) p.3.

⁸ NHS England ホームページ (2023 年 11 月 29 日参照)。

<https://www.england.nhs.uk/2015/07/vanguard-support/>

⁹ NHS England ホームページ (2023 年 11 月 29 日参照)。<https://www.england.nhs.uk/2015/10/donald-berwick-vanguard-sites/>。

万ポンドが予算措置された¹⁰。

(2) 持続可能性と変革の計画および持続可能性と変革のパートナーシップ

2015年12月に『2016-2020年度のNHS計画ガイダンス(Delivering the Forward View: NHS planning guidance 2016/17 – 2020/21)』が公表された。このガイダンスでは、2020年度までに84億ポンドの予算増加が示され、それに伴い、NHSに対して、2つの計画策定が求められた。1つは、地域単位(Place-based planning)の『5年間の持続可能性と変革の計画(A Five Year Sustainability and Transformation Plan、以下、STPと略す)』と組織ごとの『2016年度の運営計画(単年度)(A One Year Operational Plan for 2016/17)』である。ただし、組織ごとの運営計画は、STPと整合性が取れていることが条件と書かれており、地域単位が基本となっている。

2016年2月にCCGとNHSトラストは、44地域に整理された。NHSイングランドは、2016年3月に、『持続可能性と変革の計画の足跡(Sustainability and Transformation Plan footprints)』を公表した。この文書において、STPは地域住民のニーズに基づいて構築された、地域単位の5か年計画であり、これらの計画を実現するために、NHSプロバイダー、CCG、地方自治体、およびその他の医療ケアサービスが協力して、44地域のSTPを形成し、それぞれのSTPについて紹介している。

その後、STPは42になり、STPは、持続可能性と変革の計画から、持続可能性と変革のパートナーシップ(Sustainability and Transformation Partnerships)を示すようになった。プラン(Plan)からパートナーシップ(Partnership)へとPの意味合いが変化した。2020年4月には、14のNHSイングランド地方事務所が、42の持続可能性および変革のパートナーシップ(STP)に置き換えられた¹¹。

(3) STPから統合ケアシステムへ

NHSは、2018年のNHS創立70年に向けて、2017年3月に、『5年後を見据えた展望の次のステップ(Next Steps on the NHS Five Year Forward View)』を公表した。今後は、救命救急、一次医療、がん治療、精神保健、地域の統合ケアにさらに力点を置くことが示された。STPは、一部、責任あるケアシステム(Accountable Care System、以下、ACSと略す)に発展することになった。

2018年2月には、『2018年度NHS計画の更新(Refreshing NHS Plans for 2018/19)』によると、2017年に11月に、2018年度の予算は、16億円増額されることとなった。地域ケアの重要性が論じられ、2015年に提案されたSTPは、それを発展させる形で、2017年にACSを導入したが、さらに新しい統合ケアシステム(New Integrated Care System)が示された。

¹⁰ NHS England (2016a) p.5.

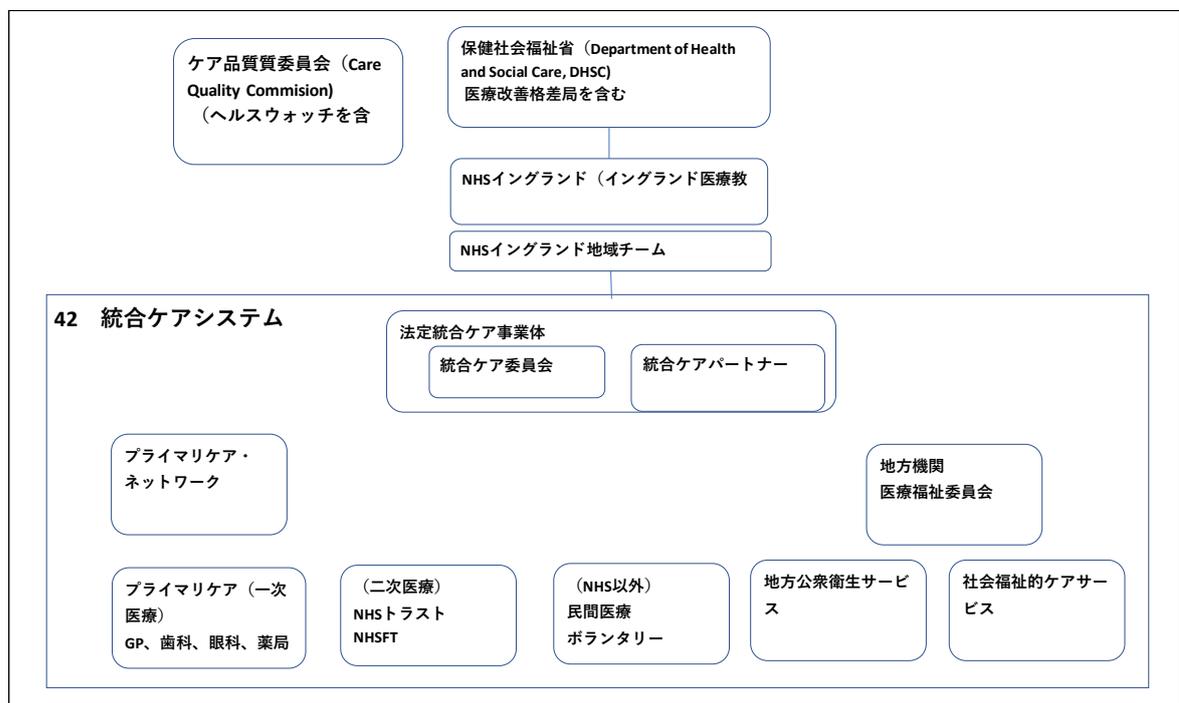
¹¹ NHS Digital ホームページ (2023年11月29日参照)。

<https://digital.nhs.uk/services/organisation-data-service/archive/change-summary-2020-stp-reconfiguration>

2019年1月に公表された『NHS 長期計画 (NHS Long Term Plan)』では、長期計画の中心は、統合ケアシステムで、一次医療と病院、精神保健、福祉的ケアの統合を提供する実用的で実践的な方法であると述べた。2021年4月までにすべての地域に統合ケアシステムが用意されることが示された。在宅ケアの強化も示された。

2022年7月には、CCGに代わり、42の統合ケアシステムが誕生した。22年法以後の医療提供体制は図1のとおりである。統合ケアシステムは、統合ケア委員会と統合ケアパートナーシップから成る法定統合ケア事業体、一次医療、二次医療、民間医療、公衆衛生、福祉的ケアサービスで形成されている。

図1 2022年法以後の統合ケアシステム



出所 : Powell (2023) p.12

2. 新しい NHS 診療報酬支払方式への変更

2022年法の改正では、NHS 診療報酬制度の二次医療に対する診療報酬額を定める規則について、これまでの公定価格表¹²から NHS 診療報酬支払方式に変更し、2022年法 77 条に「NHS 診療報酬支払方式」が定められた。二次医療の診療報酬制度については、地域の実情に応じて、地域でもっと自由に支払えるようにした方がいいとニーズがあった。NHS 診療報酬支払方式への変更までの 10 年近い変遷をみていく。

(1) 2014 年の診療報酬支払方式改革の提案

前述したように、2014年10月に発表された『5年後を見据えた展望』では、一般家庭医、

¹² 公定価格表は、2014年度に導入された。2004年から採用されていた結果による診療報酬支払 (Payment by Results System) の代わりに導入された。

病院、地域保健、精神保健などのあらゆるサービスのさらなる統合、福祉的ケアとの連携を強化することが掲げられた。予算配分や調達方法なども含めた見直しを行うことが示された。これを受けて、2014年12月に、モニター（Monitor、現 NHS Improvement）と NHS イングランドが、『NHS サービスの診療報酬支払方式の改革：5年後を見据えた展望を支える（Reforming the payment system for NHS services: supporting the Five Year Forward View）』を発表した。2020年を見据えて、福祉的ケアや一次医療を含む NHS 二次医療をさらに発展させたいと考えるいくつかの支払方式を示した。具体的には、一般家庭医、病院、コミュニティサービス、精神保健、福祉的ケアなどの他職種による地域コミュニティの構築のための人頭払い方式、救急医療ネットワークの構築のための能力、活動量、品質に応じた支払を採用し、ネットワーク全体で医療提供者とコミッショナーの間でリスクを共有し、患者が適切な環境で必要なケアを受けられるようにする。高度医療については、ベストプラクティスに関連付けられたケアに対する支払や、生涯にわたる疾患を抱える患者のケアに対する年間ケアの支払いなど組み合わせの支払方式を求めた。精神保健については、精神的・身体的両面から、結果と回復に関連した混合支払いを求めた。NHS の決済システムを支えるデータ要素の改善点についても言及した。

（2）2019年の提案と勧告

NHS イングランドと NHS Improvement による、2019年2月の『NHS 長期計画の実施—法改正の可能性についての提案（Implementing the NHS Long Term Plan : Proposals for possible changes to legislation）』では、柔軟性を高める診療報酬支払方式が必要であると述べられた。法改正により、より柔軟な対応が可能になると述べている。具体的な法改正の提案は以下のとおりである。

- ・ 公定価格を固定値ではなく計算式として設定できるようにして、支払われる価格に地域の要因を反映できるようにする。
- ・ 公定価格を指定された地域にのみ適用する権限を与える。たとえば、急性期医療で「地域外」の治療をカバーできるようにする一方で、地方事務所と医療提供者が、診療報酬規則に従って地元の病院から患者が受けるサービスに対する適切な支払について取り決めできるようにする。
- ・ 些細な変更があった場合に、公定価格表全体について協議するのではなく、公定価格表の条項を調整できるようにする。
- ・ 統合ケアシステムが完全に開発された後、現在、医療提供者が NHS Improvement に申請して診療報酬価格を地域的に変更する権限を削除する。統合ケアシステムに移行するにあたり、地域の状況を反映するために国内診療報酬価格の現地変更を可能とする。
- ・ 統合ケアを支援するために、公定価格表に「2006年国民保健法 7A 条（National Health Service Act 2006, Section 7A）」の公衆衛生サービスの価格を含めることができるように主要な法律を変更する必要がある。

そして、NHS イングランドと NHS Improvement は、2019年9月に『NHS の政府および議会に対する NHS 法案の勧告（The NHS's Recommendations to Government and

Parliament for an NHS Bill)』を公表した。

(3) 保健社会福祉省の決定

保健社会福祉省は、2021年7月に『統合とイノベーション：すべての医療と社会福祉的ケアのために一緒に働く (Integration and innovation: working together to improve health and social care for all)』を公表した。その中で、公定価格表に対して、以下のように言及している。

統合ケアシステムに移行する中で、支払方式が統合ケアシステムに合うようにサポートできるようにしたいと考えている。NHS イングランドの勧告を実施し、公定価格が、財政上の厳格性を維持し、ベンチマークを維持しながら、統合ケアに向けた適切な枠組みを支援できるように法律を改正する。価格設定の障壁を取り除く調整を行い、価格設定プロセスを簡素化・合理化する。

NHS イングランドの勧告にそって、公定価格は、固定額または計算式による価格のいずれかになる。また、NHS イングランドは、適切な措置を講じた上で、条項を改正することができる。価格の現地変更についても、医療提供者が NHS Improvement に申請する要件を削除する。NHS イングランドは、国務長官から委任された公衆衛生機能を行使する NHS 公衆衛生サービスの価格設定に関する規定を公定価格に含めることができるべきであると考ええる。

そして、統合ケアシステムのコミッショニングについても、共同体制が組めるように検討する。NHS イングランドに、その直接委託機能を複数の 統合ケア委員会と共同委託する権限を与え、住民を合わせたサービスを手配できるようにする。統合ケア委員会が委任された機能を実行するための協力的な取り決めを締結できるようにし、「二重委任」を可能にする。統合ケアシステムで資金をプールできるようにする。1990年国民保健法 7A 条の公衆衛生サービスについて、より幅広い委任オプションを可能にする。これには、パートナーシップ協定などの協力協定への委任機能が含まれる。

NHS イングランドが特定の専門的医療サービスの委託を単独または共同で、統合ケアシステムに委任または移管できるようにするか、これらの機能が特定の安全策を条件として委任または共同委託に適していると考えられる場合、NHS イングランドが統合ケアシステムと共同で委託できるようにする。専門的なコミッショニング政策とサービス仕様は引き続き国家で主導され、患者が全国で平等にサービスにアクセスできるようにする。

このように、議論を重ねて、2022年法が制定され、公定価格表は NHS 診療報酬支払方式に変更された。

(4) NHS 診療報酬支払方式とは

NHS 診療報酬支払方式は、2023年4月から運用が開始されるにあたり、以下の4つの支払ルールが含まれており、2023年度と2024年度の2年間で設定された¹³。

¹³ NHS 診療報酬支払方式の関連文書は9種類配付された。①2023年度2024年度 NHS 診療報酬支払方式 (NHS が資金提供する二次医療に対して支払額を確立する4つの支払メカニズムに関する一連の規

・支払とインセンティブ (Aligned payment and incentive (API))

NHS の医療提供者の活動をふまえた固定費と変動費で構成される。選択的活動や選択的回復基金 (Elective Recovery Fund) の一部を形成するすべての活動は変動費に含まれ、単価の 100%が反映されて、支払われる。

・少ない活動に対する支払 (Low volume activity (LVA) block payments)

年間 50 万ポンド未満の調達に適用され、3 年間の移動平均に基づいて国が設定した値が支払われる。

・活動基準支払 (Activity-based payment)

NHS 以外の民間医療部門やボランタリー部門が提供するすべてのサービスに適用される。支払は、提供される活動単位ごとに、単価の 100%が反映される。

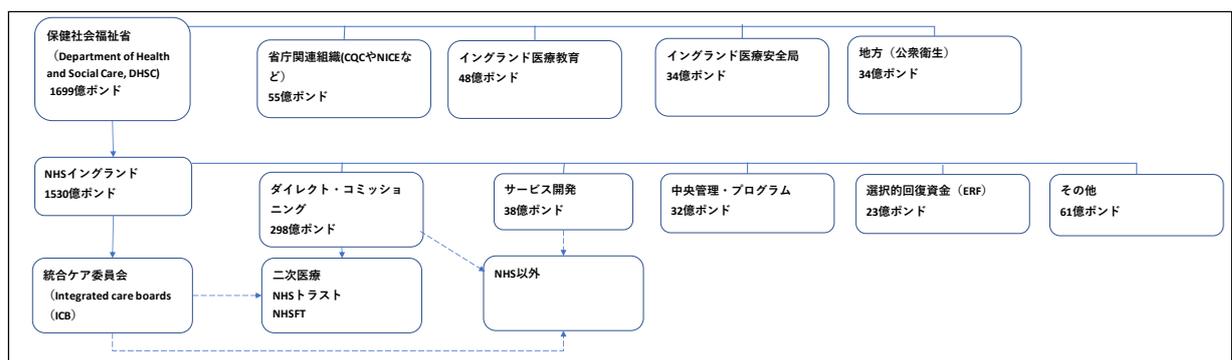
・地域における支払調整 (Local payment arrangements)

統合ケアシステムと医療提供者の合意による支払

NHS 診療報酬支払方式には、公定価格表とほぼ同じ方法で計算された単価および価格 (付録 A) が含まれている。2023 年度のインフレコスト上昇率は 2.9%、効率性係数は 1.1% で設定された。

図 2 は、2022 年度の予算の流れである。予算は、保健社会福祉省から NHS イングランドを経て、統合ケア委員会に配分される。統合ケア委員会は、NHS トラスト (NHS Trust) や NHS ファンデーショントラスト (NHS Foundation Trust、以下、NHSFT と略す) や NHS 以外の民間医療部門やボランタリー部門と契約し、医療サービスの診療報酬を支払う。一方、NHS イングランドは、NHS トラスト、NHSFT、NHS 以外の医療サービスを直接購入できる。また、NHS 以外に対して、サービス開発費を支払うことができる。

図 2 2022 年度の予算の流れ



出所 : Powell (2023) p.14

則)、②変更ログ (Consultation change log)、③2023 年度価格ワークブック (付録 A)。2023 年度の価格がすべて記載されている。④付録 B -価格ガイダンス (Guidance on currencies)、⑤付録 C -ベストプラクティス価格ガイダンス (Guidance on best practice tariffs)、⑥付録 D - 価格コスト調整 (Prices and cost adjustments)。単位と価格計算の詳細。⑦市場原理要因ガイド (A guide to the market forces factor)、⑧リクエスト・テンプレート (Variations request template)、⑨高額の医薬品・備品の追加変更要望書 (High cost drugs and devices - nomination form)。

おわりに

本稿では、2022 年法による医療改革のうち、統合ケアサービスと新しい NHS 診療報酬支払方式の導入に焦点をあてて検討した。2012 年法の医療改革以降、社会経済状況の変化により、医療介護ケアに対する国民のニーズも変化し、また、改革による課題が浮き彫りとなり、多くの議論がなされた。その結果、より国民のニーズに合った地域における医療から介護までの一貫したサービス提供に移行することとし、2022 年法が制定され、統合ケアサービスを中心とした組織再編がなされた。予算については、二次医療の診療報酬体系は、公定価格表から NHS 診療報酬支払方式に変更された。NHS 診療報酬支払方式の概要をみると、地域における裁量が増えた計算式になっている。2023 年 4 月から開始されたばかりのため、評価するにはまだ早い。日本でも、地域別診療報酬が検討されているので、今後の運用状況を引き続き見守る必要がある。また、本稿では二次医療のみに着目したため、一次医療や医薬品、福祉的ケアも含めた医療介護全体の財政を把握する必要があり、どちらも今後の課題としたい。

【参考文献】

Dickinson, Hill (2020), *Standard General Medical Services Contract*, Publishing approval number: PAR333

<https://www.england.nhs.uk/wp-content/uploads/2020/12/20-21-GMS-Contract-October-2020.pdf>

(2023 年 11 月 29 日参照)。

Monitor and NHS England (2014) ,*Reforming the payment system for NHS services: supporting the Five Year Forward View*, Monitor Publication code: IRCP 23/14 and Publications Gateway Reference 02619

https://assets.publishing.service.gov.uk/media/5a7eeaaae5274a2e8ab4904d/ReformingPaymentSystem_NHSEMonitor.pdf

(2023 年 11 月 29 日参照)。

NHS England (2015) *The Forward View into Action : New Care Models: support for the vanguards*, Publications Gateway Reference: 04482

<https://www.england.nhs.uk/wp-content/uploads/2015/12/acc-uec-support-package.pdf>

(2023 年 11 月 29 日参照)。

NHS England (2016a) *Sustainability and Transformation Plan footprints*, Gateway reference: 04902.

<https://www.england.nhs.uk/wp-content/uploads/2016/02/stp-footprints-march-2016.pdf>

(2023 年 11 月 29 日参照)。

NHS England (2016b) *New Care Models: Vanguards - developing a blueprint for the*

future of NHS and care services

https://www.england.nhs.uk/wp-content/uploads/2015/11/new_care_models.pdf

(2023年11月29日参照)。

NHS England (2017), *Next Steps on The NHS Five Year Forward View*,

<https://www.england.nhs.uk/wp-content/uploads/2017/03/NEXT-STEPS-ON-THE-NHS-FIVE-YEAR-FORWARD-VIEW.pdf>

(2023年11月29日参照)。

NHS England (2018), *Refreshing NHS Plans for 2018/19*, Publications Gateway
Reference: 07705 and 07706

<https://www.england.nhs.uk/wp-content/uploads/2018/02/planning-guidance-19.pdf>

(2023年11月29日参照)。

NHS England (2019), *The NHS Long Term Plan*,

<https://www.longtermplan.nhs.uk/wp-content/uploads/2019/08/nhs-long-term-plan-version-1.2.pdf>

(2023年11月29日参照)。

NHS England (2021a), *Integration and innovation: working together to improve health and social care for all*, CP 381, 11 February 2021

<https://assets.publishing.service.gov.uk/media/60251b36e90e070562513dac/integration-and-innovation-working-together-to-improve-health-and-social-care-for-all-print-version.pdf>

(2023年11月29日参照)。

NHS England (2021b) *Health and Care Bill: NHS payment scheme*,

<https://www.gov.uk/government/publications/health-and-care-bill-factsheets/health-and-care-bill-nhs-payment-scheme>

(2023年11月29日参照)。

NHS England (2023a), *Revenue finance and contracting guidance for 2023/24*,
Publication reference: PR00021, 27 January 2023.

<https://www.england.nhs.uk/wp-content/uploads/2023/01/PR00021ii-guidance-on-23-24-revenue-finance-and-contracts.pdf>

(2023年11月29日参照)。

NHS England (2023b), *2023/24 priorities and operational planning guidance*

Publication approval reference: PRN00021, Version 1.1, 27 January 2023

<https://www.england.nhs.uk/wp-content/uploads/2022/12/PRN00021-23-24-priorities-and-operational-planning-guidance-v1.1.pdf>

(2023年11月29日参照)。

NHS England Strategy & Innovation Directorate and NHS Improvement Strategy Directorate (2019), *Implementing the NHS Long Term Plan Proposals for possible changes to legislation*, Publications Gateway Reference: 000287

<https://www.longtermplan.nhs.uk/wp-content/uploads/2019/02/nhs-legislation-engagement-document.pdf>

(2023年11月29日参照)。

NHS England and Care Quality Commission, Healthcare Education England, Monitor, Public Health England, Trust Development Authority (2014a), *NHS Five Year Forward View*

<https://www.england.nhs.uk/wp-content/uploads/2014/10/5yfv-web.pdf>

(2023年11月29日参照)。

NHS England and Care Quality Commission, Healthcare Education England, Monitor, Public Health England, Trust Development Authority (2014b), *The Forward View into Action: Planning for 2015/16*, Publications Gateway Number: 02768

<https://www.england.nhs.uk/wp-content/uploads/2014/12/forward-view-plning.pdf>

(2023年11月29日参照)。

NHS England and Care Quality Commission, Healthcare Education England, Monitor, Public Health England, Trust Development Authority (2015) *Delivering the Forward View: NHS planning guidance 2016/17 – 2020/21*, Publications Gateway Reference: 04437

<https://www.england.nhs.uk/wp-content/uploads/2015/12/planning-guid-16-17-20-21.pdf>

(2023年11月29日参照)。

NHS England and NHS Improvement (2019) *The NHS's recommendations to Government and Parliament for an NHS Bill*, Publishing approval number: 000657

<https://www.england.nhs.uk/wp-content/uploads/2019/09/BM1917-NHS-recommendations-Government-Parliament-for-an-NHS-Bill.pdf>

(2023年11月29日参照)。

Picket, Lewis (2017), *Sustainability and transformation plans and partnerships*, House of Commons Library Number CBP8093, 29 September 2017

<https://researchbriefings.files.parliament.uk/documents/CBP-8093/CBP-8093.pdf>

(2023年11月29日参照)。

Powell, Thomas (2023) *The structure of the NHS in England*, House of Commons Library Number 7206, 10 July 2023

<https://researchbriefings.files.parliament.uk/documents/CBP-7206/CBP-7206.pdf>

(2023年11月29日参照)。

Powell, Thomas and Manjit Gheera, David Foster, Bukky Balogun, Lorraine Conway(2021), *The Health and Care Bill [Bill 140 of 2021-22]*, House of Commons Library Number CBP9232, 12 July 2021

<https://researchbriefings.files.parliament.uk/documents/CBP-9232/CBP-9232.pdf>

(2023年11月29日参照)。

UK Parliament (2021) , *Health and Care Bill*, HL Bill 132

<https://bills.parliament.uk/publications/45813/documents/1627>

(2023年11月29日参照)。

UK Parliament (2022), *Health and Care Act 2022*

https://www.legislation.gov.uk/ukpga/2022/31/pdfs/ukpga_20220031_en.pdf

(2023年11月29日参照)。